

第89回全国高校ラグビー大会県予選は16日、秋田市の八橋球技場で開幕した。初日は1回戦2試合を行い、大館鳳鳴が小坂に大勝、大館工が金足農に逆転勝ち



〈第1日〉

した。第2日のきょう17日は、同球技場で2回戦2試合を行い、第1シードの秋田中央が大館鳳鳴と、第2シードの秋田工が大館工とそれぞれ対戦する。

# 大館工、金農振り切る

▽1回戦

大館工 22 1012 15 金足農  
 足農△レフェリー 伊東  
 大館工△レフェリー 伊東  
 TGP前 11110  
 TGP後 2212  
 金足農 20010 10005 15計反

前中盤までに許したりリードをひっくり返した大館工が、金足農の反撃をかわし、逃げ切った。

10点差を追う大館工は、前22分、FL秦がトライを決め、ゴールも成功して3点差とし、30分にSH長岐のトライで逆転。後半2分にはSO畠澤のトライで突き放し

金足農は後半17分に1トライを返したが、あと一歩及ばなかった。

守りから攻撃にリズム

○：「初戦突破」に照準を絞り、大会に臨んだ大館工が金足農を逆転で下し、第一の目標を達成した。FL 畠川直輝主将（3年）は「守りからリズムをつくり、攻撃につなげる自分たちのラグビーができた」と胸を張った。

大館工は序盤、立て続けに2トライを奪われ、苦しい立ち上がりとなった。「3トライ目も先に取られると負けていた」と明石渉監督。その後

は持ち味のディフェンスを中心としたプレーを取り戻した。

FW陣のタックルや、モールでの押し込みが効果的に決まり、中盤以降は試合の主導権を握り続けた。畠川主将は「やってきたことができた。今までで一番いい試合」と笑顔を見せた。

次の相手は第2シードの秋田工。畠川主将は「きょうと同じように、FWが接点で頑張らない」と意気込む。明石監督は「自分たちのやってきたことを試合で出せるかがポイント。チャレンジする気持ちで向かってほしい」と話した。



【大館工—金足農】後半2分、大館工のSO畠澤（中央）がトライを決める

## きのこの結果

▽1回戦

大館鳳鳴 122 0 小坂  
 大館工 22 15 金足農

## きょうの試合

▽2回戦

秋田中央（13・00）大館鳳鳴  
 大館工（14・30）秋田工

# 鳳鳴122点、小坂に大勝

▽1回戦

大館鳳鳴 122 0 小坂  
 大館工△レフェリー 澤木  
 小坂△レフェリー 澤木  
 TGP前 00000 00000  
 TGP後 125070 86052 12計反

し、前半で70点を奪った。後半も攻撃の手を緩めず、相手のタックルが甘いを見逃さず、得点を重ねた。小坂は最後まで粘り強く戦ったが、トライを奪うことはできなかった。

大館鳳鳴は序盤からFW、BKが攻め立てトライを量産

序盤から立て続けに大館鳳鳴にトライを奪われた。だが、劣勢の中にあってもメンバーで唯一、1年生からラグビー

（3年）が大きな声を出し、仲間を鼓舞し続けた。「学年が進むごとに人数が少なくなると、不安な面もあった」というが、山口監督とともにチームをまとめ、花園を目指す戦いの舞台出場にこぎ着けた。

山口監督は「選手たちは気迫だけは負けていなかった。高田君に1トライを取ってほしかったが…」と振り返る。高田主将は「こんな頼りないキャプテンだが、後輩たちに支えられた。感謝したい」と話していた。

○：チーム結成から7年連

ぎだった。

序盤から立て続けに大館鳳鳴にトライを奪われた。だが、劣勢の中にあってもメンバーで唯一、1年生からラグビー

第89回全国高校ラグビー大会  
県予選第2日は17日、秋田市の八橋球技場で2回戦2試合を行い、第1シードの秋田中央、第2シードの秋田工が



〈第2日〉

それぞれ順当勝ちし、4強入りを決めた。きょう18日は同球技場で2回戦残りの2試合を行い、4強が出そろふ。

# トライ量産 秋田工圧勝

## 大館工を零封



【秋田工・大館工】後半17分、秋田工のWTB南波が6トライ目を決め、85-0となる

秋田工	108	49	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
▽30分ハーフ	△キックオフ	秋田工	▽レフェリー	武藤	秋田工	97	59	77	0	49	大館工	0	0	0	0	0	0	0	0
		大館工	TGP前	0	0	0	0	0	0	0	大館工	0	0	0	0	0	0	0	0
		秋田工	TGP後	0	0	0	0	0	0	0	計	108	0	49	0	反	4		

### きょうの結果

▽2回戦

秋田中央 55-7 大館鳳鳴  
秋田工 108-0 大館工

### きょうの試合

▽2回戦  
能代工 (13・00) 男鹿工 (14・30) 秋田南

16トライを決めた秋田工が、大館工を無得点に抑え、圧勝した。

秋田工は試合開始早々、ラックから右に展開し、WTB南波がトライを決めて先制。その後もFW陣の突破力と、BK陣の速い展開がうまくかみ合い、トライを量産

した。大館工は接点での攻防で秋田工に力負けする場面が目立ち、得点を返すチャンスをつくれなかった。

「最後まで攻撃、攻撃」

○：第2シードの秋田工は、終始攻撃の手を緩めず、108-0の大差で秋田工を圧倒した。黒澤光弘監督は「初戦が大事と考えていたが、まずまずの結果」と手応えをつかんできた様子だった。

この日のテーマは、「最後まで攻撃、攻撃(黒澤監督)」。FW陣、BK陣がそれぞれの役割を果たしながら、うまく

連係し、トライを奪い続けた。特に6トライを決めたWTB南波輝(2年)をはじめとするBK陣が中盤で相手ディフェンスをかわし、そのままトライを決める突破力が光った。

# 秋田中央、好発進

## 大館鳳鳴は反撃及ばず

▽2回戦  
秋田中央 55-7 大館鳳鳴  
▽30分ハーフ

△キックオフ

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

秋田中央は前半10分、L0小形谷のトライで先制。その

後にも3トライを決め、リードを広げた。後半はゴールライン手前のラックから展開したトライが次々に決まり、突き放した。

大館鳳鳴は後半25分に1トライを返したが、反撃はこまでだった。

〈第3日〉

第89回全国高校ラグビー大会県予選第3日は18日、秋田市の八橋球技場で2回戦残り2試合を行い、第4シードの男鹿工と第3シードの秋田が勝ち上がり、4強入りを決めた。準決勝は25日に同球技場を会場に、午後1時から秋田中央―男鹿工、同2時半から秋田―秋田工を行う。

# 波状的攻撃で 男鹿工が圧勝

## 能工、1トライに終わる

能代工は後半15分、1トライを決めた。佐々木弘樹監督は「チーム通りにFW陣が頑張ってくれた」と満足した表情を見せた。

男鹿工は後半15分、1トライを決めた。佐々木弘樹監督は「チーム通りにFW陣が頑張ってくれた」と満足した表情を見せた。

木村圭田 藤藤渡藤真田 野村岐  
船佐板中加安樋齋板安小 天中長  
【男鹿工】FW HB TB  
【能代工】FW HB TB  
木平原辺林熊藤山野川玉山部田木  
鈴木等渡北三佐大小石児栗阿柴佐  
▽交代【男】市川(船木)、南木  
(樋渡)、岩谷(板橋真)、楠木  
(中村)、松田(小玉)【能】赤  
川(笠原)、田村(児玉)、小嶋  
(佐藤)

続けた。2トライを決めたL  
O中田豊(3年)は「ディフ  
エンス、アタックとも『前  
出る』を実践できた」と胸を  
張った。

準決勝の相手は第1シード  
の秋田中央。CTBの谷史哉  
主将(同)は「自分が起点と  
なって仕掛けていく。勝つ自  
信はある」と力強く宣言。佐  
々木監督は「チームカラーを  
出し切れば、観客をあっと言  
わせるゲームになる」と話し  
ていた。

【男鹿工―能代工】前半28  
分、男鹿工のナンバー8齋  
藤(中央)が相手ディフェ  
ンスを突破してトライを決  
め、31―0とする



# 9トライ、秋田快勝

## 秋田南の反撃を許さず

9トライを奪った秋田が、  
秋田南の反撃を許さず快勝し  
た。  
秋田は前半1分、ラックか  
ら右に展開し、L O吉田が先  
制のトライ。さらにナンバ  
ー8奈良が3連続トライを決め  
て折り返すと、後半はBK陣  
が5トライの猛攻で突き放し  
た。  
秋田南も積極的に攻め込ん  
だが、秋田のディフェンスを

最後まで攻略できなかった。  
後半は押されて受け身  
○：53―0という一方的な  
展開で勝った秋田だが、近藤  
周平監督は試合後、選手たち  
島野勇井澤谷陽木西浦谷拓司村  
戸清佐新赤洪佐佐小三岩佐佐庄植  
【秋田南】FW HB TB  
【秋田】FW HB TB  
山藤岡田拓上藤良川澤谷川明薄謙  
畠佐堀吉高村加奈森黒岩石有慎高  
▽交代【南】山本(三浦)、木村  
(新井)、藤原(岩谷)【秋】鎌  
田(奈良)、全(佐藤)

に「チームが丸となってい  
ない。達成感のないゲーム」  
と厳しく振り返った。  
近藤監督は前半の戦いぶり  
については、「FW陣が頑張  
った」と評価。4トライはL  
O吉田林太郎(3年)とナン  
バー8奈良佑主将(同)の2  
人が決めた。だが、後半8分  
に奈良が交代して以降、「残  
った選手が指示を出さず、秋  
田南の気迫のこもったプレー  
に押され、受け身になった」  
と近藤監督。BK陣もトライ  
を決めたが、ターンオーバー  
から独走でトライするなど  
「うちのスタイルではない攻  
撃」(近藤監督)だった。  
奈良主将は「勝つためのプ  
レーを想定し、自分たちのリ  
ズムで試合をするのが、秋高  
ラグビー。きょうはそれがで  
きていない場面もあった」と  
振り返り、「次の秋田工戦ま  
での1週間、一人一人がきつ  
ちり修正して挑まないといけ  
ない」と、準決勝を見据えて  
いた。

▽2回戦  
男鹿工 71―5 能代工  
田 53―0 秋田南

▽2回戦  
秋 田 53(26―0) 秋田南  
▽30分ハーフ▽キックオフ秋  
田南▽レフェリー石木田  
秋田南 0 0 0 0  
TGP前 TGP後 計反  
田 4 3 0 26 5 10 27 53 10 7

9トライを奪った秋田が、  
秋田南の反撃を許さず快勝し  
た。  
秋田は前半1分、ラックか  
ら右に展開し、L O吉田が先  
制のトライ。さらにナンバ  
ー8奈良が3連続トライを決め  
て折り返すと、後半はBK陣  
が5トライの猛攻で突き放し  
た。  
秋田南も積極的に攻め込ん  
だが、秋田のディフェンスを

最後まで攻略できなかった。  
後半は押されて受け身  
○：53―0という一方的な  
展開で勝った秋田だが、近藤  
周平監督は試合後、選手たち

島野勇井澤谷陽木西浦谷拓司村  
戸清佐新赤洪佐佐小三岩佐佐庄植  
【秋田南】FW HB TB  
【秋田】FW HB TB  
山藤岡田拓上藤良川澤谷川明薄謙  
畠佐堀吉高村加奈森黒岩石有慎高  
▽交代【南】山本(三浦)、木村  
(新井)、藤原(岩谷)【秋】鎌  
田(奈良)、全(佐藤)

に「チームが丸となってい  
ない。達成感のないゲーム」  
と厳しく振り返った。  
近藤監督は前半の戦いぶり  
については、「FW陣が頑張  
った」と評価。4トライはL  
O吉田林太郎(3年)とナン  
バー8奈良佑主将(同)の2  
人が決めた。だが、後半8分  
に奈良が交代して以降、「残  
った選手が指示を出さず、秋  
田南の気迫のこもったプレー  
に押され、受け身になった」  
と近藤監督。BK陣もトライ  
を決めたが、ターンオーバー  
から独走でトライするなど  
「うちのスタイルではない攻  
撃」(近藤監督)だった。  
奈良主将は「勝つためのプ  
レーを想定し、自分たちのリ  
ズムで試合をするのが、秋高  
ラグビー。きょうはそれがで  
きていない場面もあった」と  
振り返り、「次の秋田工戦ま  
での1週間、一人一人がきつ  
ちり修正して挑まないといけ  
ない」と、準決勝を見据えて  
いた。

### きのこの結果

▽2回戦  
秋 田 53(26―0) 秋田南  
▽30分ハーフ▽キックオフ秋  
田南▽レフェリー石木田  
秋田南 0 0 0 0  
TGP前 TGP後 計反  
田 4 3 0 26 5 10 27 53 10 7

9トライを奪った秋田が、  
秋田南の反撃を許さず快勝し  
た。  
秋田は前半1分、ラックか  
ら右に展開し、L O吉田が先  
制のトライ。さらにナンバ  
ー8奈良が3連続トライを決め  
て折り返すと、後半はBK陣  
が5トライの猛攻で突き放し  
た。  
秋田南も積極的に攻め込ん  
だが、秋田のディフェンスを

最後まで攻略できなかった。  
後半は押されて受け身  
○：53―0という一方的な  
展開で勝った秋田だが、近藤  
周平監督は試合後、選手たち

島野勇井澤谷陽木西浦谷拓司村  
戸清佐新赤洪佐佐小三岩佐佐庄植  
【秋田南】FW HB TB  
【秋田】FW HB TB  
山藤岡田拓上藤良川澤谷川明薄謙  
畠佐堀吉高村加奈森黒岩石有慎高  
▽交代【南】山本(三浦)、木村  
(新井)、藤原(岩谷)【秋】鎌  
田(奈良)、全(佐藤)

に「チームが丸となってい  
ない。達成感のないゲーム」  
と厳しく振り返った。  
近藤監督は前半の戦いぶり  
については、「FW陣が頑張  
った」と評価。4トライはL  
O吉田林太郎(3年)とナン  
バー8奈良佑主将(同)の2  
人が決めた。だが、後半8分  
に奈良が交代して以降、「残  
った選手が指示を出さず、秋  
田南の気迫のこもったプレー  
に押され、受け身になった」  
と近藤監督。BK陣もトライ  
を決めたが、ターンオーバー  
から独走でトライするなど  
「うちのスタイルではない攻  
撃」(近藤監督)だった。  
奈良主将は「勝つためのプ  
レーを想定し、自分たちのリ  
ズムで試合をするのが、秋高  
ラグビー。きょうはそれがで  
きていない場面もあった」と  
振り返り、「次の秋田工戦ま  
での1週間、一人一人がきつ  
ちり修正して挑まないといけ  
ない」と、準決勝を見据えて  
いた。

秋田中央 × 男鹿工 秋田 × 秋田工

# きょう 4強激突

全国高校ラグビー県予選

第89回全国高校ラグビー大会県予選はきょう25日、秋田市の八橋球技場で午後1時から秋田中央―男鹿工、同2時半から秋田―秋田工の準決勝を行う。

秋田中央は粘り強いディフェンスで踏ん張り、得点機を確実にものにしていきたい。積極的に出る攻撃が持ち味の男鹿工は、密集から素早く展開し、トライに結び付けられるかがポイントとなる。

基本重視の練習を積み重ねてきた秋田は、高い決定力を誇るFW陣に、BK陣がどう連係していくかが鍵。秋田工はBK陣の速い展開力が持ち味。FW戦で陣地を取り、優位に試合を進められるかが注目される。

きょうの試合

▽準決勝

秋田中央(13・00) 男鹿工  
秋田(14・30) 秋田工

# 決勝は秋田中央vs秋田工

第89回全国高校ラグビー大会県予選第4日は25日、秋田市の八橋球技場で準決勝を行い、第1シードの秋田中央と第2シードの秋田工が決勝進出を決めた。先制を許した秋田中央は前半に追い



〈第4日〉

つき、後半に2トライを決めて男鹿工を下した。秋田工は序盤からリードし、秋田の追撃をかわして快勝した。全国大会出場を懸けた決勝は、31日午後1時5分から同球技場で行う。

## 秋田工 8トライ、秋田撃破

31日、八橋球技場

▽準決勝  
秋田工 48(19-5) 10 秋 田  
▽30分ハーフマキックオフ・秋田  
エ・レフェリー・岸川  
秋田工 32019 52029 487  
秋田 1005 1005 1088  
序盤からリードした秋田工が、8トライを奪う猛攻で秋田を下した。

### きのうの結果

▽準決勝  
秋田工 48-10 秋 田  
秋田中央 24-7 男 鹿 工

を返されたが、FW、BKの巧みな連携で2トライを決め、折り返した。後半も秋田工は攻撃の手を緩めず、トライを次々に決めて点差を広げた。

### ハイライト

最後まで秋田工のディフェンス攻略に苦しんだ秋田は、2トライを返したが、及ばな

### 秋田工

手たちはもつとできるはず」と頂上決戦を前に、気を引き締める。秋田工は、FW陣の突破力とBK陣の展開力がうまくかみ合い、効果的にトライを重ねた。「いつもはB

ベストメンバー相めず

○秋田が準決勝で秋田工に10-48で敗れ、花園への道を絶たれた。前半中盤に5-7と詰め寄ったが、その後はディフェンスが甘くなったところを突かれてリードを許した。今大会には間に合わない」と話した。

「キックで陣地を取る役目の選手が不在。これが痛かった」と近藤監督。6月に主将の奈良佑(同)が右足を負傷したが、今大会には出場。大きな声を出してチームを引っ張った。しかし、ベストメンバーを組めない厳しい戦いで、敗戦。奈良主将は「全員でやるということが徹底できなかった」と言葉少なに語った。

- 邊木井大 藤木木田井浦野村波野
- 渡佐笠佐山武佐鈴浜村三清中南天
- 秋田工 FW BB B B B
- 山藤岡田拓上藤良川澤谷川明清溝
- 島佐堀吉高村加奈森黒石有横高
- 佐藤大 高野(笠井)、寺田
- 代交(工) 吉田(浜田)、保坂
- (村井)、船起(天野)、松本(佐々木昌)

## 広く展開 速攻光る 昨年の雪辱果たし勢い

2年ぶりの決勝に臨む黒澤監督は「秋田中央のFW陣は強いので、接点での勝負が鍵となる。そして、もっとテンポアップした連続攻撃で向かわないといけない」と語った。

「秋田中央のFW陣は強いので、接点での勝負が鍵となる。そして、もっとテンポアップした連続攻撃で向かわないといけない」と語った。



【秋田工—秋田】前半18分、秋田工のLO山田がトライを決めて12-5とする

# 秋田中央 後半得点重ね 男鹿工を下す

## 焦点

秋田中央が3年連続で決勝進出を果たし、3連覇に王手をかけた。し

### 秋田中央

かし、古谷和義監督は「安易なミスが多い。相手のプレッシャーが強いわけではなく、自分たちでミスして

▽準決勝

秋田中央 24(17-0)7 男鹿工  
▽30分ハーフ▽キックオフ 秋田中央▽レフエリー 庄司  
男鹿工 1107 0000 713  
TGP前 TGP後 計反  
中 央 1107 22117 2413

先制を許した秋田中央は前半中盤に同点に追いつき、後半は粘り強い守りからリズムをつくり、2トライ、1PGで男鹿工を下した。

秋田中央は前半16分、22分ライン付近のラックからSH澤木がポスト左にトライ、ゴールも成功して7-7で前半を終えた。

後半は両チームとも反則が多く、一進一退の攻防。しかし、12分にラックからSO鈴木健が右中間にトライを決めて勝ち越し。17分には澤木のPGで加点した。27分にもFGで加点した。27分にもFGで加点した。27分にもFGで加点した。



【秋田中央―男鹿工】後半12分、秋田中央のSO鈴木健(左)が右中間にトライを決め、12-7とする

## 反則、凡ミスで前半苦戦

いる」と厳しく振り返った。前半開始早々、いきなり男鹿工のBK陣に突破され、先制トライを許した。不意を突かれた形で劣勢に立った秋田中央は、相手陣地に攻め込むが、痛いところで反則やミスを犯し、チャンスを逃した。「チーム全体が空回りしていた。それで苦しいゲームになっていた」と富樫平主将(3年)。16分ようやく同点に追いつき、前半終了間際にもラックから波状攻撃を仕掛けたが、反則で不発に終わった。

リズムに乗り切れないまま迎えた後半。風上に立った秋田中央は、FW、BKが一体となった攻めを見せたが、ノックオンなどで攻めきれず、じりじりとした時間が続いた。この重苦しい空気を打ち破ったのはSO鈴木健士郎(2年)。12分、ゴールライン手前のラックからSH澤木大樹(3年)のパスを受けた鈴木健が、相手DFを振り切り勝ち越しのトライを決めた。5分後には、澤木がきつちりとPGを成功させ、主導権を握り、勝利につなげた。

気合を込めて向かってくる相手手を撃破した秋田中央。古谷監督は「得点力はもともと低い。だからこそ、守りでミスをしているはダメ」と苦言を呈す。富樫主将も「もっとアタックしていかないといけない。決勝までには課題を修正したい」と話していた。

たが、その後は相手の守りを崩すことができなかった。

### 阻まれた「展開ラグビー」

○：「ナイスゲーム」。試合終了後、涙が止まらない選手たちに、男鹿工の佐々木弘樹監督はこう声を掛けた。試合

合開始早々、先制のトライを奪い、前半を同点で折り返すなど最後まで第1シードの秋田中央を苦しめた頑張りを感じたからだ。

CTB谷史哉主将(3年)は「先制のトライは良かったが、後半に入って得意の展開

ラグビーができなかった。秋田中央は、FWもBKも粘り強く、裏にボールを回しても止められた」と振り返る。WTB小玉裕斗(同)は「花園を目指してやってきた3年間の最大のヤマ場と思っていた。前に出て、トライを狙いに

## 秋田NB、開幕5連敗

ラグビー

社会人ラグビーのトップリーグは25日、第5節 東京都の東京ガス大森グラウンドで東京ガス(東京)と対戦。88-7と大敗し、開幕5連敗となった。秋田NBは前半、東京ガスに5トライなどを決められ、0-34で折り返した。後半に入っても東京ガスの波状的な攻撃を抑えることができず、さらに8トライを許した。秋田NBは試合終了間際に1トライを返したが、反撃が遅す

代木木木藤藤渡藤真田玉 野村岐  
滝佐船澤加安福齋板安小 谷 天中長  
【男鹿工】W B B B  
【中 央】F H T F  
村原健大谷木谷平木健貴康大池山  
木桑二高小佐熊富澤高二鈴菊柏  
▽交代【男】吉田亮(澤木)、板橋圭(船木)

## 秋工 展開力、運動量で勝負

第89回全国高校ラグビー大会県予選はきょう31日、秋田市の八橋球技場で秋田中央―秋田工の決勝を行い、全国大会(12月27日～来年1月7日・近鉄花園ラグビー場ほか)の出場校が決まる。秋田中央が優勝すれば3年連続8度目、秋田工が勝てば4年ぶり62度目の出場となる。

### 全国高校ラグビー県予選

## 花園へききょう激突

第1シードの秋田中央は、逆転する苦しい展開で決勝に準決勝の男鹿工戦では後半に駒を進めた。第2シードの秋田工は、ここまでの2試合を

秋田中央



少ない好機をトライに

古谷和義監督 準決勝で課題となったキックされたボールの処理を丁寧にしなければならぬ。あとはしっかりと守って、少ないチャンスをトライにつなげ、3連覇に結び付ける。

秋田工



自信持って立ち向かう

富樫平主将 テンポの良いボール回しで、FW、BKが積極的に前へ出るラグビーを展開したい。準決勝までは気持ちが空回りしていたが、決勝では自信を持って秋田工に立ち向かう。

接点での勝負一番大事



黒澤光弘監督 秋田中央のFW陣は能力が高いので、接点での勝負が一番大事。気合の入ったタックルも見せてほしい。パスミスがなくし、ボールを効果的に動かす攻撃でトライを奪っていく。

攻撃的なラグビーやる



佐々木郁弥主将 FWがどんだんに前に行き、BKが展開する攻撃的な自分たちのラグビーをやる。秋田中央との勝負は厳しいと覚悟している。これまで以上に強い気持ちで向かっていく。

### ききょうの試合

【八橋球技場】

▽決勝

秋田中央(13・05) 秋田工

た。力強いFW陣を軸とした秋田中央ディフェンスラインを、秋田工の素早く次々に襲い掛かる波状的な攻撃が突破できるかがポイントになりそ

うだ。接点での勝負に自信を持つ秋田中央は、ナンバー8富樫平主将(3年)を中心としたFW陣の踏ん張りゲーム展開の鍵を握る。攻撃は、FW陣、BK陣とも個々の突破力が高く、うまくつないでチャンスをもにしたい。秋田工は、グラウンドを広く使った展開力と、切れ目な

く攻撃を重ねる運動量の高さが持ち味。2回戦で6トライを奪ったWTB南波輝(2年)をはじめとするBK陣と、FW陣がうまく連携できるかが勝敗を大きく左右する。両校は昨秋の全県新人戦、今夏の全県総体とも決勝で対戦している。新人戦は秋田工が勝利し、総体では秋田中央が雪辱している。

### NZ、豪が最終調整

### ブレディスロー杯ラグビー

日本で初開催されるニュージーランドとオーストラリアによるラグビー伝統の定期戦、ブレディスロー杯は31日、東京・国立競技場で行われる。試合前日の30日は両国代表が試合会場で最終調整を行い、臨戦ムードが高まった。オーストラリアはタックルの代わりにタッチで攻守を入

れ替えるミニゲームや、キック処理などで汗を流した。今季はニュージーランド戦で3戦全敗のデイヴィンズ監督は「いままでのことは関係ない。最高の選手たちが素晴らしい試合をしてくれるだろう」と期待を込めた。ニュージーランドは来日中のキー首相が見守る中、FWとバックスの連係プレーに時間を割いた。マコウ主将は「チーム状態は上々で、大試合の前に全員が燃えている」と話した。

# 秋工 4年ぶり花園へ

## 逆転で秋田中央を下す



〈最終日〉

第89回全国高校ラグビー大会県予選最終日は31日、秋田市の八橋球技場で決勝を行い、秋田工が秋田中央を15-10で下し、4年ぶり53度目の優勝を飾り、62度目の全国大会出場を決めた。秋田工は前半に1トライ、1PGなどで先に10点を奪われ、苦しい展開となったが、前半終了間際に1トライ、後半に2トライを奪って逆転し、秋田中央に競り勝った。秋田工は全国大会（12月27日、来年1月7日、近鉄花園ラグビー場ほか）に出場する。



【秋田工-秋田中央】後半12分、秋田工がドライビングモールで突き進み、FL武藤（中央）がトライ。10-10とする

▽決勝  
秋田工 15 (105-010) 10 秋田中央  
▽30分ハーフ▽キックオフ▽秋田工▽レフ  
エリー▽磯部  
秋田工10005 200010 155  
TGP前 TGP後 計反  
中央11110 0000 106

前半、リードを許した秋田工が逆転し、逃げ切った。工が、後半に2トライを決め、秋田中央は前半9分、中央

のラックから左に展開し、CTB鈴木大がトライを決めて先制。ゴールも決まった。19分にはPGを成功させ、10-0とし、主導権を握った。追う秋田工は前半終了間際、WTB南波が右隅にトライを決め、反撃を開始。後半12分にはゴールライン手前のラインアウトからモールを形成。秋田中央FW陣を突き崩すドライビングモールの末、

FL武藤がトライを決めて同点に追いついた。さらに16分、敵陣22メートル付近中央からSO村井が左隅にキック。走り込んだWTB三浦がゴールライン手前でキヤッチし、トライを決めて逆転に成功した。秋田中央は後半20分すぎにゴールライン手前のラックから絶好のチャンスをつくったが、秋田工のディフェンスラインに阻まれた。

後半のチャンス生かせず  
○：「紙一重。全然負ける気がしなかった」。秋田中央のナンバー8富樫平主将（3年）は、花園への切符を失った悔しさをかみしめながら

も、「おれがすっかりしない」と涙を見せなかった。前半は秋田中央ペースで進んだゲーム。吉谷和義監督は、前半に返された1トライ、後半のチャンスを得点に結び付けられなかった点を敗因に挙げた。ロスコアの試合展開は想定通りだっただけに、「選手はよくやったが、あと1本取りたかった」と唇をかんだ。

### 栄光

#### 4年ぶり53度目の優勝 秋田工

「おめでとう。よく頑張った。いざ花園は」。激闘の末、全国大会への切符を手中に収めた選手たちに、黒澤光弘監督はこう声を掛け、光る汗と涙をぬぎらした。

試合開始早々、苦難の道のが始まった。LO山田康平（3年）が相手選手と激しくぶつかり、脳振とうを起す。「FWの核であり、代えられなかった」と黒澤監督。山田は「その後約5分の記憶がない」という。だが、「絶対負

も、「おれがすっかりしない」と涙を見せなかった。前半は秋田中央ペースで進んだゲーム。吉谷和義監督は、前半に返された1トライ、後半のチャンスを得点に結び付けられなかった点を敗因に挙げた。ロスコアの試合展開は想定通りだっただけに、「選手はよくやったが、あと1本取りたかった」と唇をかんだ。

は、「走り勝つラグビーをやる」と話して臨んだゲーム。有言実行できた」と胸を張り、喜びの涙は我慢した。「涙は花園のグラウンドまでとっておく」

## 走り勝つを 「有言実行」

胸 フィフティーン 張 る

た。三浦は「村井さんがけの瞬間、「くる」と思って走った。ナイスキックのおかげ」と笑顔で振り返っていた。日O佐々木郁弥主将（3年）は、「走り勝つラグビーをやる」と話して臨んだゲーム。有言実行できた」と胸を張り、喜びの涙は我慢した。「涙は花園のグラウンドまでとっておく」



4年ぶり53度目の優勝を飾った秋田工チーム

いにした。花園に行く秋田工に当たりがくる。接点勝負について、富樫主将は「接点でもっと強くなり、秋田の代表ではうちの方が勝っていた」と話し、「全国ではもっと強エールを送った」